

# 日本と東アジアの関係

日本と東アジア諸国との関係を歴史、安全保障、経済、文化等の多面的な視点から考察します。まず、歴史解釈が現代に及ぼす影響を台湾を例に考察し、次に北朝鮮の核兵器開発が日本の安全保障問題に与える問題、東アジアの経済共同体構想、日本と中国の文化交流史、最後に明治時代における広島県人の朝鮮での経験を、各分野専門の講師が講義します。

■日 時：平成 21 年 6 月 4 日・11 日・18 日・25 日・7 月 2 日（木）

18:20～19:50

■会 場：県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東 1-1-71）

学内には来客用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■内 容：

6 月 4 日	台湾における植民地文化「日本」の活用～古蹟をめぐって	地域連携センター 上水流 久彦
6 月 11 日	北朝鮮の核兵器開発と日米の国防の乖離	人間文化学部 原 理
6 月 18 日	東アジアの経済発展と「東アジア共同体構想」	人間文化学部 伊東 和久
6 月 25 日	文化交流史から見た中国と日本	人間文化学部 丸山 浩明
7 月 2 日	広島県人の朝鮮体験	人間文化学部 原田 環

■定 員：50 名程度

■対 象：どなたでも

■受 講 料：無料

■申込方法：往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがなを、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇〇〇」様）をご記入の上、平成 21 年 5 月 22 日（金）（消印有効）までに次のところにお送りください。

県立広島大学地域連携センター「東アジア講座」係

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

電話（082）251-9534

受講案内は返信はがきで 5 月下旬にお送りします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報 は 県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

<主催：県立広島大学地域連携センター>

## 《 講座 の 概 要 》

6月4日

### 台湾における植民地文化「日本」の活用～古蹟をめぐって

上水流久彦

日本が良いことをした，悪いことをしたという善悪論から日台関係は問題になるが多い。だが，近年台湾の人々自身が過去の日本との関係を如何に用いているかという点も注目されている。その点と中国との統一問題とを関連させて台湾の中の日本について述べる。

6月11日

### 北朝鮮の核兵器開発と日米の国防の乖離

原 理

冷戦中の日本の安全は米国の核の傘によって確保されてきた。しかし，冷戦が終結し，ソ連ではなく北朝鮮の核兵器が日本の安全を脅かしている現在，米国と日本の安全保障上の国益が乖離し，核の傘が機能しなくなっている。その理由を分析する。

6月18日

### 東アジアの経済発展と「東アジア共同体構想」

伊東和久

アジア NIES，中国，ベトナムなどの経済発展がアジアの地域統合の必要性に関する議論を取り上げる。

6月25日

### 文化交流史から見た中国と日本

丸山浩明

ひと（人）やもの（物）は動くことによって影響し合う。ライスロード（稲作）を前置きにして，ブックロード（書籍・文字の交流）を中心に，漢字文化圏における中国と日本との関係を発信受信の観点から考えてみたい。

7月2日

### 広島県人の朝鮮体験

原田 環

明治期の福沢諭吉の門下で朝鮮の改革運動（甲申政変,1884）に関わった，広島県出身の井上角五郎（1860-1938）の朝鮮体験を取り上げる。